

2016年6月2日

HAKUBA VALLEYエリア内、 共通自動改札システム・共通ICチケット導入に関するお知らせ

日本スキー場開発株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：鈴木 周平、コード：6040）の4か所のグループスキー場を含むHAKUBA VALLEY(長野県白馬村・小谷村・大町市に所在する11か所のスキー場からなる日本最大のスノーリゾート※1)は、2016-17冬季シーズン（2016年11月～17年5月）からエリア内共通の自動改札システムを導入し、1枚の共通ICチケット（HAKUBA VALLEYチケット）を持つだけで、HAKUBA VALLEY内の全てのゲレンデを何か所でも自由に滑走できるようになります。※2

2016年6月1日より、この共通ICカードを利用することで共通自動改札化によるメリットを最大限に享受できる“HAKUBA VALLEY SEASON PASS”(白馬エリア共通シーズン券)の販売を開始致しました。

この取組は、国内のスキー・スノーボードファンの皆様にとっての大きなサービス向上となることはもちろん、近年急増を続けている、平均滞在期間の長い外国人スキー客にとっても大幅なメリットとなります。近年全国各地で増加している訪日外国人観光客に対して、日本最大のスノーリゾートとなるHAKUBA VALLEYとしても全力を挙げて、インバウンド需要のさらなる活性化に力を入れていく考えです。

※1：HAKUBA VALLEY 11スキー場 リフト・ゴンドラ111本、滑走可能面積956ha
出所：HAKUBA VALLEY内各スキー場データ、ニッポンのゲレンデ誌ほか

※2：一部スキー場では一旦窓口で各スキー場チケットとの引き換えが必要
(白馬さのさか、爺ガ岳、鹿島槍、ヤナバ、白馬コルチナ（17-18シーズン以降順次拡大予定）)

■ HAKUBA VALLEY



【HAKUBA VALLEY 索道事業者プロモーションボードリリース】

http://www.hakubavalley.jp/img/japanese/hv_release.pdf

【本リリースに関するお問い合わせ】

日本スキー場開発株式会社 管理部 國澤